

特集 図書館へ行こう!

別府大学附属図書館が
リニューアル



研究室訪問
学びのトビラ

クローズアップ
別大生

地域連携

編集／別府大学・別府大学短期大学部 広報室 発行日／令和3年9月30日 印刷／佐伯印刷株式会社
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-66-6262 (広報室)
禁断転載



真理はわれらを自由にする

Be-Museum



「蓮畑」

匹田 楓子（文学部 国際言語・文化学科 令和2年度卒業 卒業制作）

蓮の葉に魅力を感じ、平面的に表現しました。

本物の葉は力強い印象もありましたが、作品では優しさや柔らかさも感じていただきたいです。

（日本画 130.3×486cm）

つるつるもち麦うどん

食

物栄養学科では、平成29年度より玖珠町産大麦を活用した玖珠町の活性化に取り組んでいます。今回、もち麦粉の活用として、玖珠町産大麦粉（もち麦粉）を使用した「つるつるもち麦うどん」を商品化しました。もち麦粉だけではボソ

ボソとした食感になるため、学生たちが学内で打ちによる試作を行い、株式会社粉工房うさと有有限会社四井製麺工場に協力いただき、大麦粉を20%配合したうどんを完成させました。茹でてさっと冷水にさらし「さるうどん」にするのがおすすめです。もちもちした食感と大麦

の風味が楽しめます。商品のパッケージも国際言語・文化学科の学生が担当し、玖珠町のシンボルである伐株（きりかぶ）山や童話の里をイメージしたデザインになっています。「つるつるもち麦うどん」は大分県内の店舗で販売中です。



商品開発担当
梅木 美樹 准教授
麻生 菜、大久保 梨奈、岡 祐希
(食物栄養学部 食物栄養学科 令和2年度卒業)

パッケージ担当
根之木 英二 特任教授
田中 夢乃、牧 光佑
(文学部 国際言語・文化学科 4年)

※本事業は「大学等による『おおいの創生』推進協議会令和2年度地域活性化事業（実践型地域活動事業）」として取り組みました



Be-News NO.123 CONTENTS

3	特集
	図書館へ行こう！
9	学科からのトピックス
13	スペシャルインタビュー さいきたむむさん
14	クローズアップ別大生 鳥越 大輝さん (文学部 国際言語・文化学科 4年) 神島 遥さん (短期大学部 初等教育科 2年)
16	研究室訪問 学びのトビラ 文学部 史学・文化財学科 講師 赤松 秀亮
17	サークル紹介
18	卒業生インタビュー こんにちは先輩!! 永松 寛之さん (食物栄養学部 発酵食品学科 卒業) 田崎 礼華さん (短期大学部 食物栄養科 卒業)
20	学園からのお知らせ
22	地域連携
23	インフォメーション

図書館へ行こう！

別府大学 附属図書館が 大幅リニューアル

2021年3月に1階フロアが大胆なリニューアルを遂げた別府大学附属図書館。利用者のみなさんからは快適に過ごしやすいとなったと好評の声をいただいています。開設から70年の歴史の中で30万冊を超える蔵書があり、古今東西の名著から、文系を中心とした専門書、最新のカルチャー本まで、一歩足を踏み入れると知的好奇心をくすぐられます。ようこそ、図書館へ！

案内人 園田 詢さん、溝邊 芹捺さん (食物栄養学部 発酵食品学科 4年)

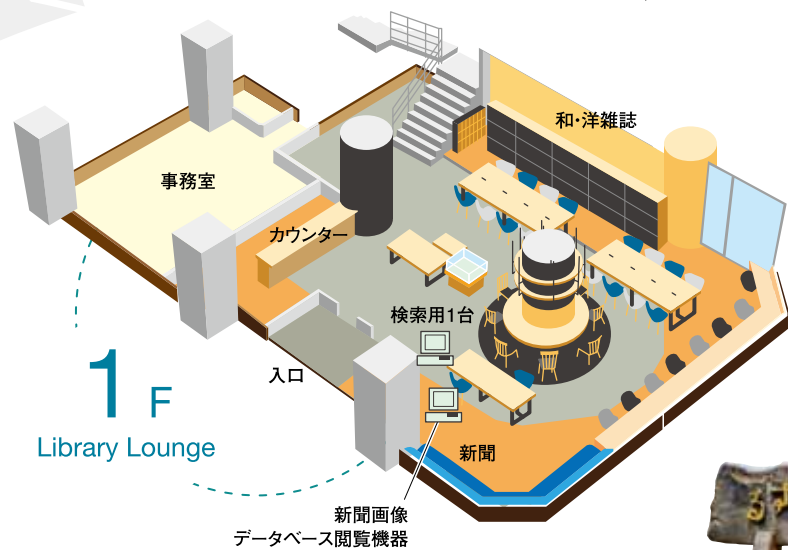




扉を開ければ

「知」の世界が広がる

FLOOR MAP



別府大学附属図書館の概要

開館時間	月～金 8:30～19:00 土 8:30～15:00
休館日	日曜・祝日・お盆・年末年始
施設構成	本館・ラーニングcommons
蔵書数	積層書庫・大学院図書室 約36万冊

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一部の利用が制限される場合があります

— 対話することで、言葉が持つ本来の意味が見えてきそうです。

浅野 図書館は、本を起点に広がる世界と出会う場。新しい世界に触れて、これまでの自分が考えたこともなかった発見があるかもしれません。今回リニューアルした図書館の1階がその入り口として機能し、2階、3階が学生たちにとって、知の創造を広げる場になることを願っています。

片的な文字を、画像として認識しているだけなのかもしれません。私自身は、本に書かれた文字を媒介にして言葉をもう一度頭の中で組み立て直し、理解を深めるようにしています。そうやって本を読むことで、言葉と対話していくような心がけています。

— 最近はネットに触れる機会が増えましたが、本で得る知識とはどこが違うような気がします。

浅野 豊富な情報をスマホで簡単に見られるのは便利ですが、断

— 今回のリニューアルのポイントは何ですか？

浅野 単なる通過点に過ぎなかった1階フロアを、学生が本と向き合えるような寛ぎの空間にすることを目指しました。新刊書や雑誌、新聞を手に取りやすくしており、まずは1階で文字を通して、今を知ってもらいたいと思います。

図書館から広がる新しい世界を

浅野図書館長に聞いてみました

浅野 則子 図書館長
(文学部 国際言語・文化学科教授)





積層書庫

各種研究機関の論文や紀要、郷土資料などの貴重な書籍や資料は、積層書庫に保管されています。通常は特別な手続きを経たうえで閲覧を許可されるクローズドな存在ではありますが、別府大学の場合は常時開架されており、気軽に手に取れます。膨大な数となる書籍に囲まれ、本好きでなくとも時間を忘れるくらいに至福のひとつを過ごせます。

学生サークル「FOBUL」

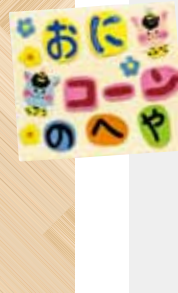
図書館の実務をボランティアでサポートする、歴史ある学生サークルが『FOBUL』です。部員数は8名。代表の仙波寛人さん(文学部国際言語・文化学科4年)は、司書課程を受講する本好き学生です。「返却された本を分類記号にしたがって書架に戻す排架作業など、バックヤードならではの作業は面白いし勉強になります。史学関連の書籍をはじめ、その充実ぶりには驚かされるばかりです」。1階フロアのリニューアルにより、図書館へ足を運ぶ学生が増えたことを喜んでいました。

別大附属図書館の魅力発掘録



別府大学附属図書館は、昭和21年に開学した別府女学院の図書室が始まりでした。当時は施設を持つことなく、校舎の一室を利用。多くの教授のみなさんから書籍を寄贈いただいたり、図書購入費用を捻出するため、ダンスパーティーを開催したこともあったそうです。その後、昭和42年に建設された文化会館の中に念願の図書館が開館。蔵書の充実も進んでいき、現在の図書館は、昭和61年の学園創立80周年事業の一環として開館したものです。

このような長い歴史に積み重ねられた私たちの図書館には、たくさんの方の力が詰まっています。ここでは、その一部を紹介します。



絵本コーナー

図書館2階の絵本コーナーも、短期大学部に初等教育科がある別府大学ならではの試みが施され、絵本についての学びが深まると評判です。独自の必読絵本・児童書100選や、学生による絵本POPの展示が行われており、学生が考案したキャラクターにちなんで「おにのコーナー」と名付けられています。



高価本 & 稀覯本

① 碇とイルカの図柄が有名な「プラトン全集」は、グーテンベルクと並び称された印刷業者・アルドゥス出版のもの
② 「アリストテレス全集」「セネカ哲学全集」も16世紀から17世紀にかけて出版されたもの。革製の装丁がその年月を物語っています

別府大学創設者の佐藤義詮先生には、「西洋古典学文庫」を作りたいという夢がありました。図書館5階の書庫には、古書収集家として知られるご本人が寄贈された稀少価値の高い書物が所蔵されています。なかでも古代ギリシャ及びローマの哲学者の全集は、大変価値の高いもの。1513年にベネチアで出版されたルネサンス期の一冊本『プラトン全集』は、碇とイルカの図像で知られている稀覯本。ほかにも『アリストテレス全集』(1548年)、『セネカ哲学全集』(1652年)など、他ではあまり見ることのできない蔵書があることに驚かされます。



図書館には本もあるけれど音楽や映像もあり、さらには独自の地域情報や生活情報など、あらゆる情報資源が集積しています。最近に限られた人が利用する場所だけに止まらず、積極的にイベントや展示会等を行い、地域に開かれた図書館も増えています。私たちも、もっと図書館を活用していくべきです。

たとえば図書館を自分のオフィスにしてみよう。朝30分早く登校して新聞各紙の気になるニュースをチェックするとか、その日することをリストにまとめるとか、学生生活のルーティンに加えて、図書館に自分のデスクを作るのです。かかりつけの司書を作ることもオススメです。かかりつけ司書は、ちょっとした調べものときに気軽に相談できる心強い存在でもあり、「この本を読んだらこっちの本もオススメ」というように、読書や学習の相談相手にもなります。

図書館を自分のオフィスに！

司書課程・佐藤先生の 図書館活用術

佐藤 晋之 司書課程講師



習の相談相手にもなります。自分なりの検索方法を見つけることも重要です。検索には目的によって様々な方法があります。その中から、自分なりの検索方法(つまり、使いやすい方法)を身に付ければ、関心のある本や目的に見合った資料に早くたどり着くことができます。ぜひ、一度かかりつけの司書に相談し、自分なりの検索方法を見つけてください。

また、僕ら教員は研究室が与えられています。学生は学内に自分だけの場所を持ちづらいと思います。友達が集まる教室やサークルの部室は、みんなの場所であって自分だけの場所にはなりませんからね。そう考えると、図書館を本や資料と向き合って学習する場所だけでなく、何かに集中したり、息抜きしながら一日を振り返ったり、ひとりになれる居場所として活用するの、いいと思います。



機関リポジトリ

別府大学では「知のデジタル情報発信室」として、本学に関する論文、報告書をウェブで公開しています。「別府大学機関リポジトリBUILD」では本学に関する論文や報告書、「地域連携プログラムBUNGO」では、別府史談会など地域発の発行物を発信。いずれも貴重な資料として、広く活用されています。

BUILD, BUNGO



分館 (ラーニングcommons)

39号館(国際経営学部棟)の分館「ラーニングcommons」は、経済・経営・会計分野の書籍や雑誌を所蔵。自動貸出返却装置で手続きできますが、本館と映像テレビ電話を使った問い合わせも可能です。



郷土料理を動画で楽しく伝えよう!

大分合同新聞企画の動画コンテンツ制作に協力

01

食物栄養学科
短期大学部 食物栄養科



調理室にカメラやライトが設置されました

今回、大分合同新聞社より依頼を受け、大分の郷土料理を紹介する動画制作に本学食物栄養学科と短大食物栄養科が協力しました。

大分合同新聞の創刊135周年記念企画の一環として企画されたもので、「みんなで作ろう! 大分の郷土料理」として、大分に伝わる郷土料理18品の作り方を動画で紹介するものです。

それぞれの学科が9品ずつ担当し、学生・教員がグループに分かれて撮影に臨みました。郷土料理は同じ料理でも地域によって作り方や味付けが異なることがあります。

まず、今回は、家庭でも簡単に作れるようレシピを工夫しました。料理の特徴や由来、調理のポイントなどの説明も交えて調理をしていきました。カメラやマイクの前で緊張する場面もありましたが、日頃の授業や実習で学んでいる成果を発揮し、撮影はスムーズに行われました。

動画は7月13日から順次公開されました。大分合同新聞の折り込み紙「GX PRESS ジュニア」でも特集していただき、小・中学生にも夏休みのおやつづくりや自由研究として活用してもらえたのではないかと思います。

check!!



学生たちにとっては大分の郷土料理について学ぶ貴重な機会となり、郷土の味を伝える楽しいコンテンツができ今後の励みになったと思います。

動画は大分合同新聞のウェブサイト「Gate(ゲート)」で公開中です。ぜひご覧ください。



撮影と同時に次の料理の撮影準備をしました



料理のナレーションも学生が担当しました



食物栄養学科のみなさん



短大食物栄養科のみなさん

みんなで作ろう!

大分の郷土料理

ニラ豚
オランダ
とり天
りゅうぎゅう
ゆでもち
とっさんずし
鶏のからあげ
うれしの
とり飯

きらすめし
ごまだしうどん
やせうま
芋ねり
鯛麺
石垣もち
団子汁
じり焼き
カボスゼリー

とり飯

石垣もち

カボスゼリー

Youは何に図書館へ?

附属図書館がリニューアルし、より多くの別大生が図書館を利用してくれています。そこで今回は『Youは何しに図書館へ?』と題して図書館に来ていた別大生にインタビューをしました。

Question

- 1 Youは何しに図書館へ?
- 2 どれくらいの頻度で利用しますか?
- 3 リニューアルしての感想



国際経営学部
国際経営学科
おおの かな
2年 大野 神奈さん
(大分県立別府鶴見丘高校出身)

①レポートの参考文献を探しにきました。②週2、3回利用します。③1階の席には仕切りがあって感染防止対策がしっかりしています。USBポートもあるのでスマホを充電できて助かってます。



文学部
史学・文化財学科
もちだめ しゅんた
3年 持留 峻大さん
(熊本県 熊本国府高校出身)

①テスト勉強をしにきました。家より図書館の方が集中できます。②3年生になって教職課程の勉強があるのでほぼ毎日利用します。③リニューアルして座るところが増えて勉強しやすくなりました。



文学部
人間関係学科
ひさかど けんた
3年 久門 健太さん
(大分県立別府支援学校高等部出身)

①授業の空コマを使って図書館でアルバイトをしています。②アルバイトも含めると週5回ほど利用します。③1階が明るい印象になって利用しやすくなりました。



別府大学 広報室
もりやま とちはる
森山 智晴さん
(別府大学食物栄養学科出身)

①別府大学や関連校の学生や先生方の活躍が新聞に取り上げられているかチェックしにきました。②ほぼ毎日来ています。③学生時代も図書館は利用していましたが、雰囲気明るくおしゃれになりより利用しやすくなりました。



文学部
国際言語・文化学科
たけうち わかな
2年 竹内 若奈さん
(大分県立大分商業高校出身)

①イタリアのバンドが好きなので、イタリア語を勉強しに来ています。②週1回ぐらい利用します。③カフェみたいになって過ごしやすくなりました。コンセントやUSBポート、WiFiがあるのはほんとに助かります。

オンラインで味噌づくりに挑戦

「発酵の日」イベント開催



画面越しに味噌の造り方を紹介する藤原秀彦教授



運営に参加した発酵食品学科のみなさん



学生も発酵食品について発表しました

8月5日は「はっ(8)こう(5)」と読む語呂合わせで、「発酵の日」です。発酵食品学科ではこの発酵の日にかけて8月7日に発酵の日オンラインイベントを開催しました。

今年のテーマは「味噌」で、味噌についての講義と、本学科が開発に関わった味噌キットを用いた味噌づくりを行いました。教員2名のほかに発酵食品学科の学生4名もイベント運営に参加し、「発酵食品ってなに」というタイトルで発酵食品について紹介を行いました。

当日は、夏休みということもあり親子で参加してくれている方も多く、23組(30名の方)に参加していただきました。また、今回はオンラインということと約3割が県外の方でした。参加者からは「夏休みの自由研究でまとめた」「知っているようで知らないことが多くあり、とても勉強になりました」「など多くの感想をいただきました。

来年以降も発酵の日のイベントを開催する予定ですので、みなさまぜひご参加ください。

空から笑顔の種をまく

九州沖縄の翼「ソラシドエア」による特別講演

国際経営学科では、7月20日に本学メディアホールにおいて、株式会社ソラシドエアによる特別講演会を開催しました。

観光業界のサービスやホスピタリティを学ぶ「観光サービス論」の講義で、航空業界のケースとして「地域に根差し共に歩むエアラインを目指して」をテーマに杉尾美香大分支店長、井口朋香氏、古川千尋氏によるリレー方式で講演をいただきました。

STEP1では「ソラシドエアについて」地域に根差した活動や経営理念などの会社概要を説明いただき、STEP2では「ソラシドエアのブランドについて」安心と

信頼こそが笑顔の原料であり、九州から日本世界へ笑顔の花を咲かせよう! という意味で「空から笑顔の種をまく」というブランドコンセプトやロゴマーク等を説明いただきました。最後にSTEP3では「ソラシドエアのプロモーションについて」航空会社の営業や運賃戦略、学生にとって身近なSNSを活用したWEBプロモーションについて説明いただきました。

これまで学生にとって航空業界は、正に雲の上の世界でしたが、講義という種まきにより身近に感じられたようです。今後、学生がさらに航空業界に興味を持ってくれることを期待しています。



ソラシドエアより3名の方にご登壇いただきました



特別講演の様子



講師からの質問に答える学生

No charity , But a chance(保護より機会を)

人間関係学科2年生が「太陽の家」を訪問

6月18日、25日、7月2日、9日の四日間、人間関係学科2年生84名が「発展演習」の講義で、別府市亀川の「社会福祉法人太陽の家」を訪れ、施設見学と障がい者スポーツを体験しました。

「太陽ミュージアム」では、太陽の家や協力企業の展示資料を見聞し、ボッチャや車いすバスケットを体験しました。「オムロン太陽」や「サンスター」の見学では、労働環境の工夫で障がいがあっても質の高い労働が可能であることを目の当たりにしました。

太陽の家の協力企業の株式会社エーディーイー(ADE)では、

eスポーツの「ドローンサッカー」と「HADO」を体験しました。前者はドローンを使ったサッカー、後者はAR(拡張現実)ゴーグルとセンサーを使ってエナジーボールを投げ合うスポーツです。ユニバーサルスポーツとしてのeスポーツの可能性を体験できました。

授業後、「太陽の家創設者である中村裕博士の『足りないところは科学の力で』の言葉が理解できた」、「『No charity , But a chance』の意味がわかった」、「ドローンサッカーの操縦スティックを工夫すれば、障がい者も操縦できるのでは」などの感想が寄せられました。



AR(拡張現実)を活用したeスポーツ「HADO」



白熱した「ドローンサッカー」



実際に車いすバスケットを体験しました

04 中世の史跡をめぐる旅

史学・文化財学科

国東半島日帰りバスツアー

7月11日、日本中世史の演習を受講する2、4年生を対象に、日帰りバスツアーを実施しました。行き先は、中世の史跡が豊かに残る文化財の宝庫、国東半島です。

朝8時30分に大学を出発し、最初に訪れたのは中世以来の農村景観が今も残る豊後高田市の田染小崎地区。目の前にある何気ない田舎の風景に、どのような歴史の記憶が刻まれているかを学びました。その後、元宮磨崖仏↓富貴寺↓長安寺↓真玉海岸↓夷谷(六所神社)↓無動寺↓天念寺と、盛り沢山のコースで夕方まで史跡をめぐる続けました。道中、



長安寺の収蔵庫にて太郎天像を熟覧中

100食の給食を作ろう!

3年生「給食経営管理実習」

03

食物栄養科

管理栄養士の主な業務の1つに、献立作成・食料管理・衛生管理を中心とした給食管理があります。3年前期の給食経営管理実習では、給食管理における一連の業務などをグループごとに交替わりで担当し、100食の給食を食物栄養学科の学生や教員に提供します。食材の発注、提供時間から逆算しての調理手順、自分の持ち場の器具の使い方、確認など、大量調理ならではの苦労もたくさんありますが、3年生は「大変だけど、達成感がある」「将来働く上で重要な実習である」



コロナ禍ということで今年度もお弁当形式で提供しました

「わからないところは自主学習することで理解を深めていく」と前向きに実習に取り組んでいます。

この実習を通して管理栄養士に必要な給食運営能力、技術を積み重ねていきます。

さいきたむむさん



©saikitamm/©Anova, Inc.

もっちりむちむち、どこかシュールな様子が大人気のキャラクター「ともだちはくま」。作者のさいきたむむさんは、別府大学の卒業生です。アトリエにお邪魔して、気になるアレコレを聞いてきました。

大分弁は特徴があります

イラストを描いて嬉しいことは？



©saikitamm/©Anova, Inc.

最後に、学生みなさんへメッセージをお願いします

セージをお願いします

このご時世、やりたいことをするのに場所は関係ありません。やり続けることが大事なので、あきらめずにやってみてほしいです。誰にでもチャンスはあります。大きく羽ばたいてほしいです！



イラストレーター。LINEスタンプクリエイターとして活躍し、大人気キャラクター「ともだちはくま」はグッズ、カフェ、企業コラボなど幅広く展開。コミック『ともだちはくま』(KADOKAWA)『ともだちはくま日本昔話』(日本文芸社)著書多数。別府大学文学部芸術文化学科(現 国際言語・文化学科)卒業。大分県豊後大野市在住。

Profile

Twitter Check!!



サインをいただきました



大分でマイペースに活動中。ファンの皆さんのコメントに励まされています

学生時代の思い出を聞かせてください

大学時代はたくさん楽しい思い出があります。芸術文化学科(現国際言語・文化学科)だったので、アトリエに毎日通っていました。友達が集まると、つい遊ぶほうが楽しくて、絵の制作が進まず先生に叱られたこともありました(笑)。サークルの皆さんにも市内外、いろいろなところに連れて行ってもらいました。

もんね(笑)

大分弁と言っても私が使っているのは豊後大野の方言で、同じ大分出身の友達にも通じない言葉もあって、大分弁の奥深さを感じましたね。それから1年後ぐらいに「ともだちはくま」が誕生しました。食いしん坊で残念なままがコンセプトで、微妙な表情やポーズを意識して描いて

子どもの頃からずっと絵を描くことが好きで、イラストを描き続けていましたが、仕事にするなんて無理だと思ってたし、選択肢にもありませんでした。でも大勢の人に見てもらいたいという想いや憧れは、心のどこかにあったと思います。SNSを通じてファンの方たちが喜んでくれることが何よりうれしいです。ファンのみなさんからのコメントが励みになっています。

今後の活動予定を教えてください

マイペースにやりたいですね。細く長く、何十年もやっていきたいと思っています。本当はもっと大分で活躍したいんです。イラストでも、ちよつとずつ大分をアピールしてるんですけどね。

08 和食のプロに学ぶ 季節を味わう夏の会席弁当

短期大学部 食物栄養科

令和3年度 食物栄養科 料理講習会



料理のお手本を見せる小野先生

「夏野菜のお煮しめ」「とうもろこしの炊き込みご飯」など夏の食材を生かした色彩豊かな料理の



旬の食材が盛り込まれた会席弁当

一般の方へ向けた食物栄養科の料理講習会が7月31日に開催されました。「季節の素材を生かした和食のお弁当作り」と題し、講師として「京屋本店(大分市)」の小野峻助先生をお招きしました。調理実習では、「鮎の甘露煮」

数々をつくり、一人ひとりお弁当箱に詰めていきました。参加者らは、日頃からよく使う食材もひと手間加えるだけで会席料理に变身する技や、卵焼きを作るときの菜箸の使い方など、沢山のプロの技を学んでいました。新型コロナウイルスの感染予防を徹底したうえで、調理の補助に入った学生たち

07 おかしみあふれる 山野ワールドが炸裂!

国際言語・文化学科

山野教授のコラム好評連載中!

英語・英米文学コースの山野敬士先生が、大分合同新聞の「GX PRESS ビジネス」でコラム「役に立たない話かもしれないが」を連載中です(月1回)。時代の先端を行くビジネスシーンや事業経営、トレンド情報などビジネスパーソン必読の話題が紹介される中、山野先生のコラムは異彩を放っています。英米文学の研究者らしくヘミングウェイのハードボイルドなユーモアについて語ったり、小学校3年生の山野少年がデパートの地下で西城秀樹と遭遇した(!?)不思議な思い



掲載日を心待ちにしているファンも多数!

出話など、毎回おかしみあふれる山野ワールドが炸裂します。物事を角度を変えて見るユーモアこそ、大人の嗜みではないでしょうか。役に立つ「役に立たないかもしれない話」をぜひお読みください。

09 学年学科を越えた新たな交流

短期大学部 合同

短期大学部第2次オリエンテーション 城島高原パークバス旅行



みんなと思いっきり楽しみました!



アトラクションでリフレッシュ



学生代表による謝辞の様子

6月25日、好天に恵まれ、食物栄養科初等教育科学生約500名が第2次オリエンテーション「城島高原パークバス旅行」を実施しました。コロナ禍において学生同士の交流が少なく、どのように対策を取れば、安全にテーマパークを使用できるのか、食事の際の感染注意事項などチェックシートを作成し万全の準備を整えました。

はじめてに城島パーク代表取締役社長後藤康男氏より施設のコンセプト、歴史や変遷についてご講演いただき、代表の食物栄養科甲斐明日香さん、初等教育科手島由貴さんが、謝辞を述べました。目を輝かせて、講演を聞く学生たちは将来保育者教育者栄養士として子どもたちを安全に引率していくこと、子どもも大人も楽しめる施設について理解を深めました。初の試みとなった短大合同のオリエンテーションは「他科の学生と交流でき、新しい空気感がとても新鮮だった」「学校行事もなく就職活動も困難を極める中でストレスがたまっていたが、友達との思い出作りができた」「行事の延期が続いたが、本当にワクワクした。最高に楽しかった」「仲間と過ごす大学生活が楽しみのになった」などの充実した感想が寄せられ、学年学科の枠を超えた新たな交流の形となりました。



講演を熱心に聴く学生

やってみれば意外とできる！ 挑戦する大切さと楽しさを 実感できた学生生活

優秀な学業成績をキープする一方、
「短期大学部フェスティバル2021」実行委員長のひとりであり、
ハンドベル研究会副リーダーも務める神島遥さん。
短大生活では、積極的に行動することの大切さを感じたといいます。
現在は理想の保育士を目指し、邁進中！

保育士を目指したきっかけや、 本学に進学を決めた理由を教えてください

私の母親は保育士で、母の仕事をする姿をずっとそばで見えてきました。私が通っていた保育園も毎日が楽しくて大好きだったので、その頃から「保育士になる!」と決めていたんです。大分県内で保育士の資格取得ができる大学を探しているなかで、別大のオープンキャンパスに行く機会がありました。そこで見た学生さんたちの研究会発表が印象的で、その後の授業体験でも先生の話が面白くて興味を持ったことが、進学の原因です。

憧れていた保育園での実習や 学校での授業はどうでしたか？

保育園の実習は楽しくて、一週間があっという間でしたね。子どもたちの動きが予測不能ですごく速かったりするのは驚きました。日誌を毎日書くのも大変でしたが、子どもへの声掛けや言葉遣いなど勉強になることばかり。全体を把握する能力など、「先生って本当にスゴイ!」と実感した実習でした。実習以外では絵本の読み聞かせや弾き歌いなど実践に役立つ演習などがあり楽しいです。レポート提出に苦労しましたが、勉強することは大好きです。授業で先生が話してくださる、保育園や幼稚園に勤務していた頃の実体験の話は、楽しくてためになりました。

イベントの実行委員長や 研究会の副リーダーとしても活躍していますね

『短期大学部フェスティバル2021』の実行委員長のひとりに選出されました。最初は「私にそんな大役は無理だ!」と思ったのですが、もうひとりの委員長に友達になったので私もチャレンジしたんです。ハンドベル研究会も、難しそうだと思っていたのですが、うまく演奏できた時は達成感を味わえました。先輩たちが卒業し、現在は4人で活動中。鳴らすベルの担当が増えたので、果たして最後まで演奏できるのか心配でしたが、意外となんとかなりました(笑)。今は少ない人数で助け合うのも楽しみのひとつになってます。

将来はどんな保育士さんになりたいですか？

子どもが楽しんで過ごせる環境を作れる保育士です。保護者からも信頼され、頼りにされる存在の保育士になりたいと思っています。

在学生へ伝えたいことやメッセージをお願いします

初等教育科は先生たちも優しいし、クラスでは友達と仲よくなれて、楽しい学生生活を送れます。私はもともと積極的に行動することが苦手なタイプでしたが、フェスの実行委員や研究会の副リーダーなど、大学に入ってからチャレンジする機会があり、挑戦することは大事だなと思うようになりました。みなさんも、たくさんの方に挑戦してみると、もっと学生生活が楽しくなると思います。

短期大学部
初等教育科
2年

神島 遥さん

(大分県立大分南高等学校出身)



この2冊は、子どもの頃に母から読み聞かせしてもらい好きになった本です



勉強の気分転換でよくお菓子作りをしています

聖火ランナーの勇姿そのままに コトバが持つ力を伝えられる 教員を目指して走り続けます

先般開催された東京2020オリンピックで
玖珠町代表の聖火ランナーに選ばれた鳥越大輝さん。
国語の教員を目指す決意をしたきっかけは、
悩んでいる時に力づけられた恩師の言葉だそうです。
「言葉の大切さを伝えたい」と意気込む鳥越さんをクローズアップ!

別府大学へ進学した理由と目標を教えてください

高校入学当初、様々なことに思い悩んだ時期があったのですが、その時に中学時代の担任だった国語の先生が自宅まで訪ねてくださり、温かい言葉で励ましてくれました。その後は、生徒会長を務めるなど充実した高校生活となりました。これを機に、将来は教師になりたいという意志が固まったのです。別府大学は、その先生の卒業校でした。

国際言語・文化学科で学んでいます どの科目の教員を目指しているのでしょうか

私自身が先生にかけられた言葉で元気を取り戻せたので、言葉の大切さを教えられよう国語の先生を目指しています。書いたり話したりしてアウトプットする活動を通して、自分の考えや気持ちを言語化できる表現力を持った子どもたちを育ていきたいと考えています。

スマホやSNSが普及し、子どもたちの コミュニケーション環境も随分変わってきましたね

伝え方次第で様々な解釈があるので、相手の気持ちを尊重しながら、伝えたいことを上手に表現できる能力はますます必要になってきます。一方で、文部科学省が推進するGIGAスクール構想で一人に一台のタブレット端末が支給されるようになりました。教育実習では、ICT機器の活用で子どもたちの意欲に変化があるとも感じたので、授業に取り入れていけるようになります。

ところで東京2020オリンピックでは 聖火ランナーを務めたと聞きました

令和最初の新成人であることから、これまで支えてくださった方への感謝や自らの夢への決意を表明する場にしたいと思い、地元の最終ランナーを務めました。実は、そのユニフォームを着て教育実習の教壇に立ったんです(笑)。道徳の授業だったのですが、「どんな時も周りに支えてくれる人がいたおかげで、今の自分がある。そういった方への感謝する気持ちを忘れてはいけません!」と話したら、共感してくれる子どもたちが多くて嬉しかったです。

学内で国際サークルも立ち上げたそうですね

今後、外国籍の子どもたちが増えていくのではないかと思います。国語だけではなく、英語と日本語教育の教員免許・資格取得も目指しています。別府大学には留学生もたくさんいるので、サークルを通じて交流が広がっていくことを願います。

クローズアップ

Closeup!

別大生

キラリと輝く別大生を
紹介します。



文学部
国際言語・文化学科
4年

鳥越 大輝さん

(大分県立玖珠美山高等学校出身)



このえ緑陽中学校の教育実習では、生徒たちとの会話から学ぶこともありました



聖火ランナーとして生まれ育った玖珠町を走る鳥越さん



サークル紹介

特別編



器楽部

フットサル部



文学部 史学・文化財学科 講師

赤松 秀亮

Hideki Akamatsu



プロフィール

1990年生まれ。東京都出身。2019年早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は日本中世史。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学文学部院助教などを経て、2020年4月より現職。



GIS(地理情報システム)ソフトは、フィールドワークの成果分析など研究上の必須アイテムです

様々な痕跡を手がかりに、地域の歴史を復原する

研究テーマ

専門は中世の荘園史です。一般的に、日本史の中世という時代は、平安後期〜戦国期(11世紀後半〜16世紀後半)の約500年を指します。鎌倉・室町・戦国と聞いて、多くの人が武士の活躍をイメージするのではないのでしょうか。華々しさのある武士に比べると地味ではあるものの、この時代を語るうえで欠かせない存在が荘園です。荘園は、貴族や寺院、神社などが全国各地に持っていた領地のことで、現在でいう市町村のような行政単位としての意味もあわせ持っていました。権力者は土地のオーナーとして、庶民は住人として、社会のあらゆる階層が荘園に関わっていたのが、中世という時代でした。

そんな中世の荘園について、村落や一揆、そして災害などに注目しながら、現地の実態がどのようなありさまだったのかを解明すべく、いくつかの荘園をフィールドに研究を進めてきました。フィールドワークを通して、土地に刻まれた荘園の記憶を掘りおこし、現代のIT機器を用いて地理的な分析を加えながら、中世から現代にいたる地域の歴史を追っています。

担当科目について

別府大学では、前述した研究テーマに関わる授業を受け持っていますが、そ

研究と教育の間で

の内容は2系統に大別されます。一つめは、文献史料の読解に関する授業です。大学で歴史学を学び、研究するうえで最も重要なのが、史料を読んで批判的に検討する能力です。そのため、2・3年生の演習や日本史講義2では、古文書の読み方や古文書学の基礎知識を学びます。二つめは、荘園を軸に中世史を学ぶ授業です。日本史特講2では成立期から解体期にいたる荘園の歴史を系統的に学び、環境史では荘園を舞台に人と自然との関わりを考えます。そして日本史実習では、かつて荘園だった地域でフィールドワークを行い、現地に残る歴史の記憶を、データ化して分析する作業を体験します。

高校時代、進路の選択にあたって中学・高校の教員を志望するようになり、数少ない得意科目であった日本史の教員になろうと文学部に進みました。大学へ入学し、日本史を専攻して驚いたのは、高校までに習ってきた知識とは比べものにならないほど、深く精緻な研究の世界が広がっていたことでした。気づけば、学問の魅力に引き寄せられるかたちで大学院へ進学し、研究者として生きることを志すようになっていました。

大学院在学中は、のべ4年にわたって中学・高校で授業を受け持つ機会に恵まれ、日本史の魅力をどうわかりやすく中高生に伝えていくか、模

～ Other sides of Hideki Akamatsu ～



国内外を問わず、知らない土地へ出て、その土地の楽しさを感じることが趣味です。
■国内:昔ながらの食堂で地元のおすすめ情報を教えてもらって、そこから旅は始まります
■海外:2019年2月、博士学位取得記念のバリ旅行にて。下手の横好きで続けているフランス語がほんの少し役に立ちました



索する日々を過ごしました。授業の準備を通じて、中世史以外の書籍に触れることができ、地理や倫理も担当したこと、知識の幅を広げる貴重な機会となりました。また、思いどおりに研究の成果が出ず、研究生活を苦しいと感じたときも、授業で歴史の楽しさを語り、生徒たちと関わっていると、不思議と活力が湧いてきたのが懐かしく思われます。その思いは、職場を大学に移した今も変わらず、学生みなさんとの関わりは、教員として生きるうえでの原動力となつています。ぜひ気軽に研究室の戸を叩いてください。



茶道部



沖縄県人会



弥次喜多倶楽部



硬式テニス部



バスケットボール部



MAP

今年も開催!「サークル紹介」



陸上部

別府大学の春の風物詩「サークル勧誘」は新型コロナウイルスの影響により今年度も延期されました。そこで今年度もアルコール消毒等、感染症対策を徹底した上で「サークル紹介」が6月5日に開催され、運動部・文化部総勢27サークルが参加しました。3密を避けるために午前と午後に分かれ、34号館と1号館の教室を利用して人数を分散しながらの開催でした。多くの新入生が参加し、久しぶりの賑わいとなりました。

どのサークルも熱心に勧誘し、新入生からは「サークルに入るの楽しみにしていたのでうれしい」「どのサークルも面白そう」「いろいろなサークルに参加してみたい」など前向きな声が聞かれました。



バドミントン部



温泉愛好会



ももこのこども園
栄養士
田崎 礼華さん

短期大学部 食物栄養科
平成29年度卒業生



メンバーと協力しながら
食べることの大切さや楽しさを
わかりやすく伝えたい



クリスマスの特別メニュー。栄養バランスはもちろん、
目で見て楽しい食事づくりを心がけています

たくさんさんの緑に囲まれ、ツリーハウ
スやすべり台があり、ワクワクする秘
密基地のような外観が特徴の「もも
このこども園」。田崎礼華さんは、約
150人の園児が集う園で栄養士・
調理員として働いています。
「短大は課題も実習も多くて忙しい
日々でしたが、友達と『大変だね』と
励まし合いながら、楽しく過ごして
いました。実験が好きでレポート作
成に熱中したり、イラストやデザイ
ンを描くことが楽しかったです。…
でも、これまでやってきたことは、今
の仕事にも繋がっているんですよ」と
田崎さん。職場では調理や事務作業
に加えて、今年から献立づくりも担
当するようになりました。栄養価を
見ながら季節にあった食材を取り入
れる献立を考えるのは、とても難し
いそうです。

「普段から仲が良くて頼れるメン

バーばかり
なので、い
ろいろと相
談しなが
ら進めてい
ます。行事
がある時は
大変です
が、子どもたちの喜ぶ顔を見ると
『やってよかった!』と感じるし、終
了後の達成感もひとしおです」
ももこのこども園は食育に力を
入れた取り組みで知られており、も
ちつき、焼き芋、囲炉裏を使ってご
飯を炊くクッキング体験など、調理
室以外で園児と触れ合う機会も多
いそうです。「絵本の料理」「世界の
料理」などテーマを決めた特別給食
では、特技のイラストやデザインの
力をフルに発揮しているとのこと。
「園児たちの素直な反応が参考にな
ります」と明るく話す田崎さん。
「短大で学んだことが役に立っている
ことは実感していますが、就職して
から学ぶことも沢山あります。給食
室のメンバーのサポートを受けなが
ら、食べることの楽しさや大切さを
もつと伝えていきたいですね」
元気いっぱい園児たちに、笑顔
の栄養士がプラスされそうです。



休日にみんなでご飯を食べに行くほど、仲良しの調
理メンバーたち。全員が別大・短大の卒業生です

三和酒類株式会社 SCM本部 酒の杜21製造場
永松 寛之さん

食物栄養科学部 発酵食品学科
令和元年度卒業生



学生時代に
経験したチャレンジが
大きな財産になっています



「BEAMS EYE on BEPPU」により商品化された「別
府温泉水あまざけ」は、まろやかな味わいが好評!

本格麦焼酎『いちこ』で知られる
三和酒類株式会社に就職し、昨年の
春から酒づくりの現場で社会生活
をスタートした永松寛之さん。
「大学時代に授業で日本酒を製造し
たことはあるのですが、配属された部
署では焼酎づくりに取り組んでいま
す。蒸留工程をはじめ、焼酎ならではの
奥深さを目の当たりにしながら、
新たな学びにモチベーションを高める
毎日です」
北九州高専から別府大学へ編入し
てきた永松さんは、高専時代に三和
酒類のインターンシップで安心院葡
萄酒工房にてワインづくりを体験。
酒どころで知られる京都・伏見生ま
れの血が騒いだのか、酒づくりへの関
心が高まり、発酵食品学科がある本
学で学ぶことを決意したそうです。
「同じ志を持った学生ばかりで、有意
義な時間を過ごせました。当時の仲

間たちも
全国各地
の酒蔵に
就職して
いるので
すがいま
でも交流
が続いて
います。お互いの酒づくりに関するこ
とや、あの料理にはこのお酒が合うな
どの話題で盛り上がります」
チャレンジ意欲旺盛な永松さんは、
学生時代から貴重な体験を重ねて
きました。アパレルブランドのビームス
と別府市のコラボ企画「BEAMS
EYE on BEPPU」では「別
府温泉水あまざけ」の商品化に携わ
り、「ブランディングやアイデアの拡げ
方について学んだことは、製造の場
身を置く立場として勉強になりました
」と、その手応えを話します。この
ほか別府でのビジネスプランを競う
「ONE BEPPU DREAM
AWARD」へのチャレンジなど、常
に前向きに取り組む姿勢は、多くの
後輩たちに影響を与えています。
「学生時代に出会った人たちとの繋
がり、大切な宝物になっています」
別府大学で育んだ絆を励みに、
永松さんの挑戦は続きます。



「ONE BEPPU DREAM AWARD」では発酵の
魅力をPR

学園からのお知らせ

【明豊高等学校】

県勢として54年ぶりの決勝進出

本校硬式野球部が、春に行われました「第93回選抜高等学校野球大会」において、県勢としては54年ぶりに決勝に進出し、準優勝という成績を上げました。

本大会では、一回戦で東播磨高校に10対9、二回戦で市立和歌山高校に2対1、準々決勝で智弁学園に6対4、二度目の進出となる準決勝では中京大中京高校に5対4と勝利しましたが、決勝で東海大相模高校に2対3で惜敗し、目標に掲げていた日本一は叶いませんでした。

雪辱を期した夏の「第103回全国高校野球選手権大会大分大会」においては、4年ぶり7回目の夏の甲子園大会出場とともに、12年ぶりの春夏連続出場を決めました。結果は一回戦で千葉県代表の専大松戸高校に0対6で敗れましたが、甲子園の大舞台で、随所に明豊らしい全力プレーを見せられたことは、今後の明豊高等学校野球部の



更なる発展に繋がっていくことを思います。

これまで本校野球部に暖かい声援を送り続けていただいた皆様方に衷心より感謝申し上げますとともに、今後も地域に根差し、地域に愛される明豊中学・高等学校となるように努めてまいりますので、宜しくご指導、ご支援をお願いいたします。

学校法人別府大学 令和2年度事業報告

I 事業の概要

令和2年度は、学校法人別府大学第9期中期計画の4年目であり、学園の使命を達成するため、教育力の強化、地域連携の推進、組織ガバナンスの強化、経営基盤の強化等に積極的に取り組ましましたが、新型コロナウイルス感染症という不測の事態により、通常の教育研究活動に大きな影響がありました。

①教育力の強化

大学は、学習成果の評価方針の改善の取り組みを、短大はシラバスに各授業の到達目標を明示し、学生の自己評価の客観性の向上に取り組みました。キャンパス環境は、附属図書館1階の改修工事、キャリア支援センターの改修工事、明豊事務室の改修工事、明豊中高の理科室新設工事、明星小学校空調機更新工事、大学野球場のプレハブ設置工事、各学校の照明LED化などを進めました。

②地域連携の推進

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域との連携事業は規模の縮小や見送りを余儀なくされましたが、ホームページに「オープンテークセッション」を設置し、公開講義、公開研究、デジタルミュージアムなどを自由に視聴できるようにしました。昨年7月に襲った豪雨災害に対しては、九重町と日田市に学生教職員ボランティアを派遣し復旧支援を行いました。

③組織ガバナンスの強化

法人全体では、理事会・評議員会、定例役員会、所属長会議、事務会議等を開催しました。また、予算執行や業務運営の適正性を高めるため、監事監査、会計監査人監査、内部監査を実施しました。大学、短大では、教授会等を計画どおりに開催するとともに、大学企画運営会議、短大企画運営会議を毎月開催し、迅速な意思決定に努めました。

④経営基盤の強化

収容定員充足率の充足や、第2期中期計画の主要数値目標の達成に取り組む、財政基盤の強化に努めました。（次の「II財務の概要」に詳細を記載）

II 財務の概要

令和2年度は、積極的な教育研究環境の整備を継続しつつ、教育活動収支と教育活動外収支を合計した経常収支差額は過去5年間で最も多い355百万円の黒字を維持しましたが、特別収支の部で減価償却費の過年度修正支出として大きな収支差額が生じたことから、基本金組入前当年度収支差額が△105百万円となりました。

「事業活動収支計算書」は、企業会計でいう損益計算書に相当するものです。当該会計年度の経常的および臨時的収支を区分して、それらのバランスを把握できるようにし、これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

令和2年度の経常収支差額は355百万円、

事業活動収支計算書

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金(A)	3,006	3,018	12
		手数料	47	44	△3
		寄付金	72	96	24
		経常費等補助金	1,058	1,088	30
		付随事業収入	468	494	26
	支出	雑収入	151	180	29
		教育活動収入の計(E)	4,802	4,921	119
		人件費(B)	2,679	2,688	9
		教育研究経費	1,529	1,505	△24
		管理経費	493	481	△12
教育活動支出の計	徴収不能額	5	4	△1	
	教育活動支出の計	4,706	4,678	△28	
	教育活動収支差額	96	243	147	
	教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	101	112
その他の教育活動外収入			0	0	0
教育活動外収入の計(F)			101	112	11
支出		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出の計	0	0	0
教育活動外収支差額	101	112	11		
経常収支差額	197	355	158		
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	43	69	26
		特別収入の計	43	69	26
	支出	資産処分差額	62	66	4
		その他の特別支出	462	463	1
		特別支出の計	524	529	5
	特別収支差額	△481	△460	21	
予備費	10	0	△10		
基本金組入前当年度収支差額(C)	△294	△105	189		
基本金組入額合計	△2,054	△2,100	46		
当年度収支差額	△2,348	△2,205	143		
前年度繰越収支差額	236	236	0		
基本金取崩額	2,130	2,203	73		
翌年度繰越収支差額	18	234	216		

(参考)			
事業活動収入計(D)	4,946	5,102	156
事業活動支出計	5,240	5,207	△33

(財務データ)	
事業活動収支差額比率(C/D)	△2.1%
人件費比率(B/(E+F))	53.4%
人件費依存率(B/A)	89.1%

※表中の金額は百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

【附属幼稚園】遊びで伸ばすたくましい心

健康な園生活の保障と共に「豊かな体験活動の実施」を目標に令和3年度の教育計画を立てました。昨年できなかった由布市の日向岳登りへ行ったり食物栄養科にご協力いただいて味噌作りをしたりして学びの多い豊かな日々となっています。

日頃は「遊べ！遊べ！附属づ子」を合言葉に発達に合った遊びの環境を園内にちりばめ、自分からしたい遊びを選んで夢中になって遊び込んでいます。また、プールを新設し、7月は毎日プー

ルに飛び込んでいました。水の心地よさを存分に味わい、顔つげが苦手だった5歳のRくんが友達のを励まして、ふし浮きができるようになり自信をつけました。させられるのではなく、自分で持った目標だからこそ諦めずに挑戦し続けられたと思います。プールにはすべり台も設置し、水中に滑り込む感覚も思い切り楽しめました。2学期も環境を整え、今日はこれをするぞ！と心を動かして過ごす子ども達をどんどん増やしたいと思っています。

【明星小学校】1年生から週2時間の英語学習！

英語専科教員3名(外国人数員1名、日本人数員2名)により、1年生からは週2時間、5年生・6年生は週3時間の英語学習を体系的に学んでいます。また、全学年、ネイティブの先生によって英語のシャワーを浴び、耳を鍛え、高学年からは英語による論理力を鍛えています。

英語委員会による月2回のイン

グリッシュタイム、アメリカンスクール「ダービースクール」や別府大学の留学生との国際交流も実施しています。

さらに、入門・初級・中級・上級・英会話スカイプコースと、きめ細かくコース分けした課外クラブの英語クラブがあります。英検や、5・6年生全員が挑戦するGETEC(英語4技能検定)なども用意されています。

【明星幼稚園】今後の成長を願って、基礎を育む

現在、明星幼稚園は、「基本的な生活習慣の育成」に力を入れ、特に「人の話をよく聴く」「挨拶」「人に優しく、思いやりを持つて接する」等の心情・意欲・態度を大切にし、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」を育てています。

また「野菜の収穫」「色水遊び」「運動遊び」「英会話レッスン」等の豊かな体験を通じて、感じたり、気付い

たり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」や「制作」「ダンス」「ご遊び」等の他者との関係の中で、「思考力・判断力・表現力等の基礎」を育てています。

そして、高等学校・中学校・小学校・幼稚園と一緒に過している「明豊キャンパス」の特性を活かして、更に他校種との連携を深め、園児を育てていきたいと考えています。

別府大学教育研究振興資金の募金について

令和2年度別府大学教育研究振興資金にご寄付いただきました方々に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込めて、「ここに」芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名の公表を希望されない方につきましては掲載していません。

【令和2年度】

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

個人		企業	
尾崎	松憲	株式会社	NCフードサービス
小野	秀幸	森橋	雅浩
神品	あかり	松橋	沙耶加
川末	軍治	松元	菜緒
高野	祥子	橋成	正明
近藤	瑞希	高橋	涼莉
河野	亜弓	七條	美智代
佐藤	峰朱	佐藤	信得
昌明	峰寺	昌山	峰教寺
昌山	峰朱	佐藤	峰教寺
坂本	華	近藤	瑞希
高笠	瑞	釘宮	大智
久木田	智美	清田	訓
神田	祥子	川末	軍治
神品	あかり	小野	秀幸
尾崎	松憲	尾崎	松憲

(五十音順)※教職員を除く



MDASH
Literacy
Approved Program for Mathematics,
Data science and AI Smart Higher Education

文部科学省
「数理・データサイエンス・
AI教育プログラム」に、
認定されました

2021年8月4日付けで、
別府大学・別府大学短期大学部
の「数理・データサイエンス・AI
教育プログラム」が、文部科学省
「数理・データサイエンス・AI教
育プログラム（リテラシーレベル）」
に認定されました。（有効期限…
令和8年3月31日）

この認定制度は、今年度から開
始されたもので数理・データサイ
エンス・AIに関する基礎的な能
力の向上を図る機会の拡大に資
することを目的とするものです。
別府大学、別府大学短期大学部
では、全学科の1年生が「数理・
データサイエンス入門」と「情報リ
テラシー」を履
修し、情報基礎
教育の徹底を
行っています。
この認定を受
け、今後もデー
タサイエンス教
育を推進してい
きます。

剣道部が大分県剣道選手権大会
でダブル優勝！

2021年7月17日、昭和電工武
道スポーツセンター（大分市）にて「第
28回大分県剣道選手権大会」及び
「第42回大分県女子剣道選手権大
会」が開催され、本学剣道部の阿部
剣征助監督と本学女子剣道部の矢
野あすか（国際経営
学科3年）さんが優
勝しました。

阿部助監督は「全
日本剣道選手権大
会」へ矢野さんは「全
日本女子剣道選手権
大会」へ大分県代表
として出場します。



『地域社会研究』で
別府・温泉大学を集集！

本学地域社会研究センターは『地域
社会研究 第33号』において「別府・温
泉大学」を特集しました。本学は、地
域の宝である「温泉」をさまざまな分
野からアプローチしており、これまでの
温泉研究・教育活動を集結し、「別府
・温泉大学」として情報発信を行っ
ています。特集号ではその活動の特集
して紹介しています。ウェブでも公開
していますのでぜひご覧ください。



【硬式野球部】中嶋大晴さん
「首位打者賞」、廣次康生さん
「ベストナイン賞」受賞

今春開催された「第105回九州地区大
学野球選手権北部九州ブロック大会（1
部）」において、本学硬式野球部の中嶋大晴
さん（国際経営学科3年／写真左）が、大会
を通して最も打率の高い選手に贈られる
「首位打者賞」を受賞し、廣次康生さん（国
際経営学科1年／写真右）は指名打者とし
て「ベストナイン賞」を
受賞しました。中嶋さ
ん、廣次さんともに、
「来シーズンは必ず優
勝して全国大会に出
場する」と次なる目
標に向かっていきます。



「別府大学附属博物館」
本館の常設展を再開!!

本学附属博物館本館は、2016年
の大分県本地震を機に展示室やケー
スの改修を行っていましたが、今年8
月より常設展示を再開いたしました。
本学がこれまで発掘調査を実施し
てきた大分県下の遺跡を中心に、旧石
器時代・奈良時代までの遺物を展示
しています。また、今回新たに本学の最
近の調査などの取り
組みや3Dプリンター
で出力した3Dモデ
ルを手に取って触れる
ことができるハンズオ
ン展示など新たな試
みも行っています。



表紙イラスト…米村知倫さん
地域に開かれた図書館のイメージを
楽しいイラストで表現してくれました。



Be-NewsはHPでもご覧いただけます。

本学HPでは、下記ページにてBe-NewsのPDF版を
公開しています。バックナンバーもご覧いただけます。
<https://www.bepu-u.ac.jp/general/pr/>

Be-Newsへのご意見ご要望がございましたら、
下記までご連絡をお願いいたします。

別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82

T E L : 0977-66-6262
E-mail : koho@nm.bepu-u.ac.jp

編集後記

特集の取材で図書館を案内して
もらい、あんな本、こんな本がある
んだ！と発見しました。憧れのラ
イターの記事が載った雑誌のバック
ナンバーもずらり。お宝いっぱい
の図書館が身近にあるなんて幸せだ
な。みなさんも図書館へ行きなさい！

地域連携



コープおおいたと包括連携協定を締結しました

別府大学・別府大学短期大学部は、昨年大学創設
70周年を迎えました。長年にわたり、地域に貢献できる
大学を目指し、地域の将来を担う人材の育成を行って
います。

この度、国連の掲げたSDGs(持続可能な開発目標)
の実現を目指し、地域の持続可能な発展を具体化する
ためには組織、団体を超えた連携は不可欠と考え、別府
大学・別府大学短期大学部は、生活協同組合コープお
おいたと包括連携協定を締結しました。

6月25日に本学1号館で締結式が行われ、学校法人
別府大学の二宮滋夫理事長立会いのもと、生活共同
組合コープおおいたの青木博範理事長、飯沼賢司学
長、仲嶺まり子短大学長が協定書に調印しました。

青木理事長は、「別府大学は大分県内の全自治体
や企業との協定を締結し、たくさんの成功事例や研究
成果を挙げています。今後は、地域づくり、人材育成を
連携して取り組んでいきたい」と挨拶されました。また飯
沼学長は「本学では、地域全体が教育の場であり、地
域の中で学生を育ててもらい、地域にお返ししていくと考
えています。地域と深くかかわる事業をさまざまに取り組
んでいるコープ大分との連携に期待しています」と挨拶



協定書を手にする飯沼学長、青木理事長、仲嶺学長

しました。
この協定に基づき、互いに協力することで地域の安
心・安全と発展へ貢献し地域の担い手となる次世代へ
の育成や支援などに取り組んでいきます。

■コープおおいたと別府大学・別府大学短期大学部の包括連携協定 締結項目

- (1) 地域の特産を活用した商品の開発と販路の拡大
- (2) インターンシップの受入れ
- (3) ボランティア活動の協力（災害・援農・子ども支援）
- (4) 学生支援（生活困窮学生への支援など）
- (5) その他相互に連携することで地域社会の発展につながる事項に関すること

松山短期大学の「地域デザイン論I」で 飯沼学長がオンラインの講義を行いました



松山短期大学の学生40名が受講しました

株式会社伊予銀行と別府市は2019年9
月に「観光振興連携協力に関する協定」を締
結し、観光振興を軸とした地域の活性化に取
り組んでいます。今回その一環として、松山短
期大学の協力のもと、同大の学生たちがコロ
ナ収束を見据え、松山市と別府市の観光施
策について提案することになりました。

松山短期大学の森田正大講師が担当す
る「地域デザイン論I」で取り組まれ、講義の
一環として本学の飯沼賢司学長が「別府温
泉と四国を結ぶ～日本温泉文化の聖なるライ
ン～」として、オンラインで講演しました。

別府市と松山市は地理的・歴史的にもつ
ながりが深くあります。今回の機会を通じて、
改めて別府市や松山市の観光が促進される
とともに、大学間の連携につながっていくこと
を期待しています。